

科目名		サブタイトル	担当教員	配置学年	単位数
交通環境論		環境政策・環境経営論から考える交通事業	笠井 文雄	2年次後期	2
科目区分	専門	キーワード	交通政策、環境政策、環境経営、大気汚染問題、エネルギー問題		
ディプロマポリシーとの対応		2. 交通産業および関連分野での基礎能力（技術・理論）を有し、関連分野で活躍可能な能力			
カリキュラムポリシーとの対応		1. 一般教養および専門的（交通・観光関係）な知識と実践力とを総合的に身につける 2 交通産業および関連分野で活躍するための基礎能力（技術・理論）を身につける			
事前に受講するとよい科目		「交通概論」「鉄道基礎」「鉄道工学」「鉄道数学」「交通英語入門」「交通英語」「交通史」「交通政策論」			
講義の目的	鉄道、自動車（道路輸送）、航空などの交通事業は、あらゆる場面で環境問題に密接に関わっています。一言で環境問題と言っても、交通事業においては温室効果ガスの排出、大気汚染、騒音など多岐にわたっており、それぞれの問題の対策には、個々の原因や背景を理解する必要があります。本講義では、交通事業を取り巻く環境問題を環境政策論や環境経営論の視点から理解してもらいます。				
到達目標	本講義では、以下の三点を主な到達目標とします。 ①社会人として知っておくべき環境政策・環境経営に関する基礎概念を身につけること。 ②交通事業における環境対策について正確に理解すること。 ③企業の環境対策に関する自分なりの見解を持てるようになること。				
講義内容	本講義では、交通事業における環境問題に関する重要概念を網羅的に解説するとともに、鉄道会社を中心とした交通関連企業を取り上げ、環境問題への取組事例を紹介していきます。まず、第2講から第8講までは社会全体の環境問題の範囲や制度的枠組み、環境問題を解決するための手法などについて、交通事業を例に取り上げて説明していきます。また、第9講から第15講までは、交通事業特有の環境問題とその対応策について具体的な事例を取り上げて説明していきます。				
講義スケジュール		タイトル	内容		
	第1講	オリエンテーション	授業の進め方、講義計画等の説明		
	第2講	環境政策1	公害問題から環境問題への変遷／生物多様性と交通事業		
	第3講	環境政策2	政策手段としての規制・課税・補助金		
	第4講	環境政策3	気候変動・地球温暖化問題と排出取引制度		
	第5講	環境政策4	交通事業とESG投資／建設投資と環境影響評価		
	第6講	環境経営1	環境報告書と統合報告書		
	第7講	環境経営2	国際規格と外部認証制度		
	第8講	環境経営3	環境会計と環境経営指標／グリーン購入と廃棄物処理／3R		
	第9講	交通の大気汚染問題1	自動車排出ガス規制と技術の進展		
	第10講	交通の大気汚染問題2	モーダルシフト政策		
	第11講	交通のエネルギー問題1	自動車事業（道路輸送）の事例		
	第12講	交通のエネルギー問題2	鉄道事業の事例		
	第13講	交通のエネルギー問題3	航空事業の事例		
	第14講	交通の騒音問題	鉄道事業と航空事業の事例		
	第15講	まとめ	今後の交通事業と環境問題		
指導方法	パワーポイントによるスライドを用いた講義を中心に行います。受講生には講義内容に関するコメントや復習テストを提出してもらいます。また、それらに関する補足説明や講評を次回以降の講義時に行います。				
事前学習	毎回、講義内容に関するコメントを提出していただきますので、事前に各自で書籍やインターネット情報を調べ、自分なりの見解を準備しておくことが望ましいと考えます。なお、講義内容の資料については事前に GoogleClassroom にアップロードします。1時間程度の学習時間が目安です。				
事後学習	早い段階から最終課題である期末レポートの準備が必要となります。具体的には、講義で説明した内容について、各自で書籍やインターネットなどから得た情報を収集・整理し、自分なりに文章としてまとめることが求められます。1時間程度の学習時間が目安です。				
成績評価方法	平常点（授業内での提出物）60%、本試験（期末レポート）40%で評価します。とりわけ授業内での提出物のうち、講義内容に対するコメントを重視します。また、期末レポートの評価方法について、講義中に随時説明していきます。				
テキスト	使用しません。講義に使用するパワーポイントのファイルを GoogleClassroom に毎回アップロードします。ただし、重要なポイントを意図的に記載していないことがありますので、講義中にメモをノートにとる（またはパソコンに入力する）ことが必要になります。				
参考書籍	講義中に随時紹介します。				
特記事項	特にありません。				